

## 『教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）』 [保健学科]

医学部保健学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような方針に基づいて教育課程を構成します。

### （教育課程編成方針）

1. 教養基礎教育，専門基礎教育，専門教育の系統立てた配置により，人々の健康，特に地域医療およびチーム医療に貢献できる医療専門職者を養成するカリキュラムを構成する。
2. 教養教育科目，基礎教育科目では，医療専門職者として求められる，コミュニケーション能力，探究心，柔軟で豊かな人間性，倫理性などの能力を修得することができるカリキュラムを構成する。
3. 専門基礎科目では，それぞれの専門分野にすすむための，基礎的な知識（人体の構造と機能，人間発達および社会福祉など）を修得することができるカリキュラムを構成する。
4. 専門科目では，専攻ごとに特色を持ち，講義や実習を通じてそれぞれの専門分野に必須の知識や技術を修得するカリキュラムを構成する。また，卒業研究を通じて，課題を自ら探究し問題解決能力を身につけることができるカリキュラムを構成する。
5. 臨床実習，臨地実習では，医療専門職者に求められる知識，技能，態度，判断力を統合し，実践することができるカリキュラムを構成する。

### （学修方法・学修過程）

1年次には，幅広い知識と教養そしてコミュニケーション能力を身につけることを目的に，教養教育科目，基礎教育科目，専門基礎科目，一部の専門科目を履修する。また，多職種連携や課題探究能力を養うことを目的に，初年次ゼミを履修する。

2年次には，専門分野の基本的な知識や技術を修得し，医療行為を安全に実施することを目的に，専門基礎科目，実技演習などの専門科目，基礎実習を履修する。

3年次には，確かな知識と技術を身につけ，対象に適切な医療行為や援助ができることを目的に，専門科目，臨床実習を履修する。

4年次には，医療専門職者として知識，技能，態度，判断力を統合し実践することを目的に，臨床実習，臨地実習を履修する。また，課題を自ら探究し問題解決能力を身につけることを目的に，卒業研究を履修する。